

会 議 録

会議の名称	令和5年度さど未来創造・戦略推進会議
開催日時	令和5年 11 月 30 日(木) 午前 10 時から 11 時 30 分
場所	佐渡市役所本庁舎 2階 大会議室(Zoom 併用)
次 第	1. 開 会 2. 座長選任 3. 議 題 (1) 佐渡市総合計画令和4年度効果検証について (2) 令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)の効果検証について (3) 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金の効果検証について 4. 報 告 (1) 改定佐渡版総合戦略(仮称)について (2) SDGs未来都市等進捗評価シートの提出について 5. 閉 会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	学識有識者ほか 14 名(うち、代理1名) (事務局) 企画部 部長 石田 友紀 企画部総合政策課 課長 市橋 法子 企画部総合政策課 SDGs 担当主幹 丸山 祐一 企画部総合政策課政策推進室 室長 金子 裕介 企画部総合政策課政策推進室 主任 菊池 直之 企画部総合政策課政策推進室 主任 福嶋 雅麗
会議資料	No.1 : 佐渡市総合計画令和4年度効果検証について No.2-1: 【総括】R4デジ田交付金(地方創生推進タイプ) の効果検証について No.2-2: 【一覧】R4デジ田交付金(地方創生推進タイプ) の効果検証について No.3-1: 【総括】令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生 臨時交付金効果検証 No.3-2: 【一覧】R4地方創生臨時交付金効果検証 No.3-3: 【一覧】R3繰越分地方創生臨時交付金効果検証 No.4 : 改定佐渡版総合戦略(仮称)について No.5-1: (様式1)SDGs未来都市等進捗評価シート No.5-2: (様式2)SDGs未来都市等進捗評価シート
傍聴人の数	傍聴人1名
備考	—

会議の概要(発言の要旨)	
1.開 会	
発言者	議題・発言・結果等
総合政策課 福嶋主任	○座長が選任されるまでの間、事務局で進行することを説明
企画部 石田部長	○さど未来創造・戦略推進会議は、佐渡市総合計画やその他諸計画の一体的な推進にあたり、広く有識者・市民からご意見・ご指導をいただく場として開催している。 ○本日の議題について、令和3年度中に策定された佐渡市総合計画は今回初めての効果検証となる。デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)については、農業、産業、交通、観光、福祉といった各分野での取り組みに関する検証を行う。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については感染症対策、経済対策の取組に対してご意見をいただきたい。
総合政策課 福嶋主任	○事務局の出席者を紹介
2.座長選任	
発言者	議題・発言・結果等
総合政策課 福嶋主任	○座長の選任について説明。立候補・推薦がなかったため、事務局案を提案し、出席者より承認
座 長	○今回はじめての出席者に挨拶を求める《出席者から挨拶》
3.議 題(1)	
発言者	議題・発言・結果等
座 長	○次第3. 議題(1)について事務局から説明を求める
総合政策課 金子室長	○会議資料 No.1「佐渡市総合計画令和4年度効果検証について」により説明
座 長	○事務局の説明について、意見・質問を求める
A 氏	○概ね良好ということで評価する。 ○重点的・横断的な取組について、「D」「C」の評価となっている施策について、事務局としては実績をどう評価しているか。
総合政策課 金子室長	○出生数については、婚姻数が伸びないことから厳しい状況にあると認識している。 ○健康長寿については、市として健康寿命日本一を目指している中で、何とか伸ばしていきたいと考えている。
A 氏	○二年目以降、好転するように引き続き努力を求める。
B 氏	○令和 8 年度の目標値を既に 19%の項目が達成しているとの説明であるが、達成した項目については今後指標を見直していくのか。それとも、そのまま残して他の未達成の項目に取り組むことになるのか。

総合政策課 市橋課長	○KPIについては、計画の中間見直しを行う際に、社会情勢等を踏まえて見直すことを想定している。未達成の指標に取り組むとともに、達成したものはさらに伸ばしていく形で考えている。
C 氏	○出生数について、基本計画の目標としては何番に該当するのか。
総合政策課 金子室長	○基本目標の横断的な指標として、重点的・横断的な取組の KPI に設定している。基本目標としては、2番「一人ひとりが活躍し、いきいきと暮らせるまちづくり」に位置づけている。
D 氏	○基本目標2の「後退 D」33%は割合として非常に大きい。原因の分析と解決策について事務局はどう考えているか。
総合政策課 金子室長	○「健康推進員数」や「身体活動を1日1時間以上実施する住民の割合」、「子育て支援センター利用者数」等の指標について実績が落ち込んでいる。感染症拡大の影響が大きいものと分析している。「出前塾の受講者数(福祉教育の充実)」も実績が減少している。 ○各種教室や施設の利用者数が主な KPI になっているため、今後、アフターコロナにおいて外出機会が増える中で、健康への関心を啓発しながら KPI を伸ばしていく必要があると考えている。
総合政策課 市橋課長	○福祉・医療関係の実績は感染症拡大で外出制限があったことが大きく影響している。 ○今年度から、健康ポイント事業等、各課が連携して健康寿命日本一を目指す取り組みを始めているところであり、市民にさらに健康を意識していただけるように進めていきたい。新庁舎の階段にもカロリー消費を表示するなど工夫をしているところである。
E 氏	○基本目標4について、「前進 B」が目立つが、個人的には前進があったと思えない。事例を説明して欲しい。
総合政策課 金子室長	○たとえば水産業の振興でいうと、「漁業集落による加工品販売額」について、新商品開発やイベント販売により実績が伸びている。「新規養殖魚種の販売額」についても、ナマコの種苗生産事業ができたことで前進となっている。「支援した漁業就業希望者」についても、令和2年度の現況値から実績が増えている。
E 氏	○担い手について、現状、各漁協1名といった制限がある。枠を撤廃していただければ、まだまだ増える余地がある。
総合政策課 市橋課長	○ご意見は担当の農林水産部へ伝達し、今後の事業反映を検討させていただきます。
F 氏	○CO2 排出量が削減されているとのことだが、どういった部分で削減があったのか。
総合政策課 金子室長	○感染症拡大の影響で公共施設、観光施設、事務所等の稼働が制限され、排出量が減少になったものであると分析している。
F 氏	○「進捗状況」の定義について、たとえば「前進 B」は基準値から5%以上前進している状態とあるが、計画期間が10年で設定されている中で、目標値を10で割ったうえで計測しているのか。事務局の整理について説明を求める。
総合政策課 金子室長	○現況値を基準値として、基準値に対して5%以上増えていれば「前進 B」としている。

F 氏	○考え方がよくわからないが、5%というのは少ない気がする。50%以上なら納得できるが。
企画部 石田部長	○5%以上の増加をもって「前進」とすることが妥当かということについて、庁内会議で出た意見も踏まえて設定したものであるが、確実に妥当と言い切れるものではない。今回初年度の検証として、いったんの定義として設定しているものである。
座長	○来年度に向けて、改めてパーセンテージの上乗せを検討するというところでよいか。
企画部 石田部長	○検討する。
D 氏	○F 氏の質問と事務局の回答がかみ合っていない。F 氏がお聞きになっているのは、現況値からの増減により進捗状況を計測しているのか、それとも年度ごとの基準値から計測しているのかということである。その部分について事務局から回答がない。 ○仮に現況値からの増減で計測ということであれば、1年目2年目であれば5%でもいいのかもしれないが、ずっと5%では少ないのではないかというご質問として理解した。
企画部 石田部長	○今回、我々としては、現況値からの増減として進捗状況を計測している。 ○皆様のご指摘により、10年計画であるため年次毎にハードルが変わってくるということについて我々も認識した。 ○今回は初年度ということで、仮に10%としても大きく傾向は変わらないと思われる。ご指摘を踏まえて、次年度以降、進捗の判断で加味させていただく。
G 氏	○そもそも設定されている KPI が妥当なものであるかどうかチェックする仕組みは組み込まれているか。
総合政策課 金子室長	○中間の見直しで KPI の妥当性も含めて検証していきたいと考えている。
3.議題(2)	
発言者	議題・発言・結果等
座長	○次第3.議題(2)について事務局から説明を求める
総合政策課 福嶋主任	○会議資料No.2-1「【総括】R4デジ田交付金(地方創生推進タイプ)の効果検証について」及びNo.2-2「【一覧】R4デジ田交付金(地方創生推進タイプ)の効果検証について」により説明
座長	○事務局の説明について、意見・質問を求める
H 氏	○「元気なしまびと」事業の KPI「地域づくり活動に関わった人数」は主にどのような活動が多かったか。
総合政策課 福嶋主任	○「地域づくり活動に関わった人数」は地域づくり課が所管する集落活動への支援を目的とした補助金の活用実績により計測しているものである。伝統芸能の保存等も含めた集落での活動について、補助金を使って参画していただいた方の数ということになる。

H氏	○集落活動への補助金ということで、昨年の大雪の対応として集落で竹林の伐採等を行っていたが、そういった活動のことをいうのか。
総合政策課 福嶋主任	○竹林の伐採等については、資料の「総括」欄に記載のある「コミュニティ交付金」を活用していただいている。KPI「地域づくり活動に関わった人数」の実績値には含まれていない。
I氏	○「日本一輝けるスタートアップアイランド」事業におけるKPI「UIターン定着率」の定義はどうなっているか。 ○UIターン者の流出はどのように分析しているか。
総合政策課 福嶋主任	○申し訳ないが、資料を持ち合わせていない。調べてお示しする。
総合政策課 金子室長	○事業担当課に確認したところ、「UIターン定着率」は移住をされてから3年間佐渡にいらっしゃる方の割合を定着率として定義しているとのことだった。 ○流出の状況としては、令和3年度から4年度にかけて100人程度流出が発生しており、昨年の冬も11月以降3%程度減少している。原因については現時点では答えを持ち合わせていないが、今後、アンケート等を通じて分析していきたい。
3.議題(3)	
発言者	議題・発言・結果等
座長	○次第3.議題(3)について事務局から説明を求める
総合政策課 福嶋主任	○会議資料No.3-1「【総括】令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証」及びNo.3-2「【一覧】R4地方創生臨時交付金効果検証」及びNo.3-3「【一覧】R3繰越分地方創生臨時交付金効果検証」により説明
座長	○事務局の説明について、意見・質問を求める
《意見・質問なし》	
4.報告(1)	
発言者	議題・発言・結果等
座長	○次第4.報告(1)について事務局から説明を求める
総合政策課 福嶋主任	○会議資料No.4「改定佐渡版総合戦略(仮称)について」により説明
座長	○事務局の説明について、意見・質問を求める
《意見・質問なし》	
4.報告(2)	
発言者	議題・発言・結果等
座長	○次第4.報告(2)について事務局から説明を求める

総合政策課 丸山主幹	○会議資料 No.5-1「(様式1)SDGs未来都市等進捗評価シート」及び No.5-2「(様式2)SDGs未来都市等進捗評価シート」により説明
座 長	○事務局の説明について、意見・質問を求める
《意見・質問なし》	
5. 閉 会	
発言者	議題・発言・結果等
座 長	○参加者に全体を通じた意見・質問を求める
J 氏	○学生がインターンシップ等で佐渡に魅力を感じて就職してくれることを願っている。政策を進めて欲しい。
K 氏	○街灯等、地域の生活環境の改善について、検討していただきたい。
E 氏	○島外の交通網、特に佐渡汽船、飛行機が様々な課題の解決に向けてネックになっている。船の便数が減り、非常に不便である。
座 長	○関係課へ伝達していただきたい
H 氏	○計画や施策の説明を受けていて、島で暮らす人がわくわくするような内容になっていないように感じた。 ○地域づくり活動に参加する方が非常に少なくなっていると感じており、やっている地域とやっていない地域の間で差が大きくなってきている。地域食堂等の熱心な活動をどうカウントしていくのか、どう繋げていくのか。そういった施策がみえてこない。 ○福祉・教育はどんどん削られている。子どもの学力が低下し、不登校も増えている。明るい未来が見えるような施策が盛り込まれるようになると、佐渡で暮らす方々がわくわくしてくるのではないかと思う。
総合政策課 福嶋主任	○明るい未来が見えるような計画づくりについては、ご意見を踏まえ、しっかりと取り組んでいかなければならないと考える。 ○KPIとして適切な指標になっているかという部分については、この間で新たに立ち上がってきた事業もあり、地域活動でいえば、コミュニティ交付金が一例である。総合計画の質疑応答でもあったが、中間見直しにおいて、より適切な KPI を検討することが重要であると考え
座 長	○事務局で担当課とすり合わせをしていただきたい。
座 長	○以上で、本日の会議を閉会する。